

# 科目 生物分子科学特論 I (Special Topics in Biomolecular Science I)

担当教員 内田 朗

## 【1】 授業の目的と学習成果〔教育目標・具体的な項目〕

3年春学期までに学んだ基礎的知識を基にして、理系の枠を越えた総合的な視点から実社会との関わり合いを学ぶことを目的とする。進路決定や就職活動の基礎的な考え方を学習し、進路設計に役立てる。

<教育目標>

- (1) 十分な知識・技能と、科学的な探究心・思考力・批判力をもつ
  - (2) 自ら主体的に学ぶ力をもつ
  - (3) 他者と協力して課題を解決する力をもつ
- 就職活動に必要な知識や技術を学び、社会ルールや就職に対する概念を形成する

<具体的な項目>

- 専門分野における十分な基礎知識・基本技能 (1)  
 関連する分野における概括的な基礎知識・基本技能 (1)  
 問題を多角的に把握し、問題解決に必要な知識・技能を同定し、不足する知識・技能を自覚し、自ら獲得できる力 (2)  
 コミュニケーション能力・リーダーシップ、外国語を含む文章の読み書き能力 (3)  
 多様性を受け入れる態度 (3)  
 社会のルールとそのために必要な知識・技能

## 【2】 授業計画

No.	内 容
1	就職活動支援講座：自己PRの書き方
2	就職活動支援講座：仕事の探し方
3	就職活動支援講座：マナー/OB・OG訪問の心得
4	就職活動支援講座：エントリーシート・履歴書の書き方
5	就職活動支援講座：面接練習
6	就職活動支援講座：グループディスカッション I
7	就職活動支援講座：グループディスカッション II
8	進路決定支援：在校生進路選択体験講座
9	業界研究I（医薬品開発とCRO）
10	業界研究II（理科学機器販売）
11	業界研究V（胚培養士）
12	業界研究VI（試薬会社と研究開発職）
13	業界研究VII（食品会社）
14	業界研究VIII（SE）
15	業界研究IX（製薬会社）

## 【3】 到達目標

1. 大学で学ぶことの意義を考えることができる。
2. 社会で働くことの意義を考えることができる。
3. 大学で学ぶことと社会で働くこととの関連性を考えることができる。
4. グループディスカッションに積極的に参加して、自らの考えを発言できる。

## 【4】 授業概要

毎年、内容の見直しを行う。昨年度は、コミュニケーション能力向上のためのグループディスカッションを企画した。また、様々な業種、業界で働いている卒業生あるいはその上司による体験的進路選択アドバイスの講演を複数回行った。シラバスには昨年度の内容を記載するので参考にする。講演予定者には、大学院修士課程および博士課程修了者も含まれているので、大学院進学希望者も選択することが望ましい。

## 【5】 準備学習（予習・復習）および必要時間

必要に応じ、配付資料等を確認する。  
 就職活動支援講座等に関しては、授業ごとに180分の予習・復習が必要。

## 【6】 教科書・参考書・参考資料

資料を随時配布する

## 【7】 評価方法およびフィードバック

毎回のレポート 100%  
 評価項目を授業中に開示し、必要に応じてレポートの評価内容について開示する

**【8】 オフィスアワー**

木曜日・5時限、金曜日・5時限（ただし担当者の実習期間を除く）

**【9】 関連科目**

〔予め学んでおくよい科目〕

キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅣ

〔この科目に続く内容の科目〕

特になし

**【10】 その他**

特になし